

# 大淀中学校だより 『環』

2021年 新年明けましておめでとうございます

第15号  
京都市立大淀中学校  
令和3年1月12日  
文責 油谷

## 2021年がスタートしました！

激動の2020年が明け、いよいよ新しい年の始まりとなりました。

1月5日（火）には始業式を行い、3学期がスタートしました。昨年に続き、新型コロナの影響はあります、今我々にできることを精一杯頑張っていきだけですね。そして、この大淀中だよりですが、1学期は「和」2学期は「輪」そして3学期は「環」というタイトルにしています。みんなの環を広げていきたいと思います。みんなの力を合わせて頑張っていきましょう！

始業式の校長の話です。

「元気ですか！！

元気があれば新年の挨拶もできるということで、皆さんあけましておめでとうございます。

今年も皆さんと大淀中学校で元気に過ごしていきたいと思います。

新年の冒頭に皆さんへメッセージを送ります。

まずはおなじみになりましたが、「**大淀スピリット**」についてです。

これは35年前、私が京都産業大学に入学した時の学長先生がお話になった言葉そのものなのです。

そのフレーズ「明朗・公正で、卑屈でなく、やり出したら最後までやり抜く」という意味を込めて

昨年の4月に掲げ、皆さんに披露しました。あらためておさらいしたいと思います。

「**明朗**」とはプラス思考。明るく元気な挨拶ができること。「ハイ！」と気持ちの良い返事ができること。

「挨拶とは心を開いて相手に迫る」という意味があります。心のカーテンを開け、自ら心に光を入れて、気持ちのこもった挨拶ができるようになって欲しいと思います。

次に、「**公正**」です。これはその時、その場で正しい判断ができること。今、ここで何が必要か？考えて行動できるようになって欲しいと思います。その中で一番大切なことは、絶対に人を傷つけないことです。人権を大切にする心だと思っています。

続いて「**卑屈でない**」こと。これは結構難しいです。人間の中には「どうせ」「こんなんやったって」という急け心や人をねたんだり、自分の自信のなさを正当化して、あきらめてしまうことがあると思います。私にもたくさんのそんな心があります。そんなとき、自分との戦いに勝つ意味でこの言葉をあえて入れています。もし35年前に「卑屈でなく」というワードがこの中に入っていたら、多分私はこのスピリットを覚えていなかつたと思います。

最後に「**やり出したら最後までやり抜く**」についてです。これはまさに、一度決めたら最後までやり抜くチャレンジ精神ですね。決めたのは誰ですか？自分で。やるのは誰ですか？自分で。誰かに決められたわけではない。ならば自分の人生。一度きりの人生を自分のために頑張って欲しいと思っています。これが「大淀スピリット」です。

次にお話しするのは、これもよくお話していますが「**心のコップ**」の話です。

心のコップが上向きになれば、いろんな人がたくさん注いでくれます。プラスに自分の人生が変わります。そのために具体的にすること3つ紹介します。

それが「**時を守る**」「**場を清める**」「**礼を正す**」 成長の3原則です。

時間を守ること。身の回りをきれいにすること。そしてきちんと挨拶をすること。

これを心掛ければ、必ず心のコップが上を向いてきます。この3原則忘れないで下さいね。

最後に「**聴く**」という漢字についてのお話をします。

人の話を「聞く」と「聴く」

皆さんはこの「きく」の意味の違いを考えたことがありますか？

「聞く」これは門の中に耳がありますね。自分の都合の良いことだけ聞くことを意味します。

それに対して「聴く」これは耳辺に「**十四の心**」と書かれています。「十四の心」で人の話を聴くという意味なのです。

ではどんな心なのかというと次のようなものになります。

「広い心・新しい心・好意的な心・明るい心・共感する心・素直な心・信頼する心・尊敬する心・温かい心・平等な心・誠実な心・感謝する心・真剣な心・美しい心」の十四の心だそうです。

ちなみに私がこの中で最も重要なのは「**素直な心**」です。

このような十四の心でもって人の話を聴いてみてください。

きっと皆さん、何かが変わってくるはずです。

同じ変わるなら良い方に変わろう！」

## 2学期終業式にて 「ミニ非行防止教室」「大淀2020年の漢字」

終業式に先立ち、京都府警本部との人事交流で来られている教育委員会生徒指導課の原田担当課長（警部）様にお越しいただき、ミニ非行防止教室をして頂きました。事前に原田課長様が持ってきて下さった名刺サイズの資料を見ながら、解説とご丁寧なご指導をいただきました。

10分程度という短い時間でしたが、非常に中身の濃い内容でした。

「ポイ捨て」「スマホの自転車運転や二人乗り」「電車内での通話」「コロナ給付金詐欺」など盛りだくさんです。さらにSNSのお話もして頂きました。



今後もSNSが衰退していくことはなく、この便利なツールを有効利用することは大変良いことですが、悪用したり、されたりして困ったことにならないよう、そして軽い気持ちで送ったものが取り返しのつかないものにならないよう、その危険性やモラル、また個人情報の取り扱いなどについてお話をしました。実際に起こった例などもわかりやすくお話し頂きました。

最後は生徒会長が「大淀 今年の漢字」を書いてくれました。

Zoomでの生配信。各教室では固唾をのんで見入っていました。

そしてできあがった「大淀今年の漢字」は「愛」でした。

やっぱり「愛がいちばん」ですよね。一発勝負で生徒会長、頑張って見事な漢字を披露してくれました。素晴らしいかったです。

2021年も「愛があふれる大淀中学校」にしていきたいですね。



## 男女バスケットボール部 京都府新人戦（1／10・11）



バスケットボール部は男女共に京都府新人戦に出場しました。これは京都市秋季大会の結果で出場が決まるもので、府内の強豪との対戦となりました。

男女とも善戦はしましたが、それぞれ次の試合に勝ち進むことはできませんでした。大会の開催に当たって、各会場では換気の徹底やアルコール消毒液の各場所での設置等、大変お世話になりました。試合中のマナーも審判の方への態度なども含めて男女とも良いチームになってきました。



## 伏見支部生徒会交流会（12／23藤森中にて）

12月23日午後から藤森中学校にて伏見支部生徒会交流会が開催され、終業式後に生徒会代表3名が参加し、他校との交流を深めました。

夏に続き、今回も伏見支部11校（附属桃山中を含む）の生徒会本部役員が、新本部役員の「悩み相談」というテーマで、それぞれの困りや今後の意気込みを意見交換し合いました。新執行部になってからも依然として新型コロナ対策をしながらの運営になり、制限もある中で、各校が工夫を凝らしながら生徒会行事を行っていることなど、お互いにとって収穫が多い会となりました。



## 避難訓練



1月8日（金）避難訓練を行いました。京都府南部に震度5弱の地震が起きたと想定し、どの様な経路で移動するのかをみんなで確認をしました。新型コロナ感染拡大防止のため、グラウンドでの集合訓練はカットしましたが、しっかりとイメージできたと思います。

## 各部活動 大掃除ありがとう！

バドミントン部の皆さんのが年末体育館周りを大掃除してくれました。靴箱の裏側に落ちた落ち葉などを10袋近く集めてくれました。また男子バスケットボール部の皆さんは西校舎前の花壇を、吹奏楽部の皆さんのが委員会活動の時間に校内を掃除してくれました。どうもありがとうございました。

